

令和 6 年 6 月 20 日現在

機関番号：34314

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21K01089

研究課題名（和文）中国における辺境支援移民のアイデンティティに関する人類学的研究

研究課題名（英文）Anthropological Study on the Identity of Frontier-Support Migrants in China

研究代表者

孫 潔（Sun, Jie）

佛教大学・文学部・講師

研究者番号：10547326

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,100,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究は、国家の政策に服従し集団で行動した、政策移民の一種である辺境支援移民のアイデンティティの構築と変容を考察した。政策移民を題材とする映画や移民たちの私信を収録した出版物を分析し、移民たちが異なる水準において、自己アイデンティティを構築してきたことがわかってきた。また実地調査に基づき、移民たち及び彼らの子孫が内地へ戻ってきた経緯や、彼らの言語使用、教育環境を考察した結果、様々な国家の政策が、移民一世のみならず、移民の子孫の世代にも及び、彼らの人生に甚大な影響を与えていることが明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、これまでに人類学が明らかにしてきた、抑圧された人々の抗争・独立運動によって生まれた政治的アイデンティティとは異なり、国家の政策に服従し集団で行動する政策移民の中に形成されていったアイデンティティの構築と変容を考察した。辺境支援移民のような移動を余儀なくされた人々への考察は、彼らの認識変容の実態を明らかにするとともに、国家と移民との関係を再検討し、従来の移民研究に新しい視座からの知見を補うことができた。

研究成果の概要（英文）：This study examined the construction and transformation of the identities of Frontier-Support Migrants, a type of Policy-Guided Migrants who acted collectively and complied with national policies. By analyzing films about Policy-Guided Migrants and publications containing their personal letters, it has become clear that these migrants have constructed their self-identities on different levels. Additionally, based on field research, this study considers the processes by which migrants and their descendants returned to the mainland, as well as their language use and educational environment. The results reveal that various national policies have significantly influenced not only the first generation of migrants but also their descendants, profoundly affecting their lives.

研究分野：文化人類学

キーワード：中国 辺境 政策移民 アイデンティティ

### 1 . 研究開始当初の背景

1950、60 年代に中国政府は積極的に辺境への移住の重要性と栄光性を強調しており、強制的或いは半強制的に数百万の人々を内地から辺境地域へ移住させた。政府の「 辺境を支援しよう」という呼びかけに応え、辺境支援移民たちの間に「 我々が支辺人員（ 辺境を支援する人々）だ」という連帯感が生まれた。本研究では、この連帯感を政治的アイデンティティと捉えながらも、従来の人類学で論じられてきた、抑圧された人々の抗争・独立運動により生まれた政治的アイデンティティ（ 太田好信 2012 ）とは異なるものであると考える。そこで、国家の政策に服従し集団的行動を行なった政策移民の間に形成されたアイデンティティがいかに構築され、また歴史的状況の変化にともなって、どのように変容されてきたのかを研究しようと考えた。

### 2 . 研究の目的

本研究では、1950、60 年代に中国における上海から辺境地域の雲南省へ移動した辺境支援移民を対象とする。移動した当初から現在にいたるまで、彼ら及び彼らの子孫が辺境に移入したり、また 50 年後辺境から上海など内地へ帰還したりする過程において、その時々 of 歴史的状況に対応しつつ、多様な他者関係の中で、どのようにアイデンティティを構築・変容（再構築）させ、またアイデンティティを土台にして、いかに文化的社会的空間を生き抜いてきたのかを明らかにすることを目的とする。

### 3 . 研究の方法

本研究では、国家の政策によって辺境へ移住した政策移民たちのアイデンティティの構築と変容について、具体的には次の四点を重点的に行った。

- 1 ) 中国建国初期に行われた政策移民について、これまで出版された文字資料及び画像資料を中心に収集と分析を行った。特に映画、テレビドラマ、ドキュメンタリーを研究の視野に入れ、政策移民たちの生活がスクリーンにどのように映されているのかを明らかにした。
- 2 ) 上海市及び雲南省において辺境支援移民たち及び彼らの子孫を対象に、移民たちが経験した辺境への移住や故郷への帰還のライフヒストリーを中心に聞き取り調査を行った。移民たちの帰属意識がいかに変容・再構築されているのかを、彼らの言語使用、故郷への帰還、及び子世代・孫世代の教育環境などの側面から考察した。
- 3 ) 四川省にある三線建設博物館、貴州省にある都匀博物館、雲南省にある神犁工業公園などを訪問し、政策移民に関連する資料を収集した。また、これらの施設はほとんどが政策移民を受け入れた旧工場を改築したものであるため、施設を見学した際、関係者への聞き取り調査を通して、工業遺産としての旧工場の利用の現状を明らかにした。
- 4 ) コロナ禍で海外でのフィールドワークができなかったため、2022 年 8 月に北海道へ赴き、明治時代から行われた北海道開拓の歴史、経緯、関連する主体を初歩的に把握するように努めた。また、政策移民ではなく、自己意思で中国から日本に移住した在日中国人がいかに母国からの親友を歓待するのかを考察した。以上の研究調査を踏まえ、中国国内における政策移民について、中国から海外への国際移民及び北海道開拓移民との比較研究を行った。

#### 4．研究成果

本研究では、これまでに人類学で明らかにされてきた、抑圧された人々の抗争・独立運動によって生まれた政治的アイデンティティとは異なり、国家の政策に服従し集団で行動する政策移民の間に形成されていったアイデンティティの構築と変容を考察した。

政策移民を題材とする映画への考察を通して、故郷への帰還をめぐり、移民一世と二世はそれぞれ故郷に対する認識が異なることが窺えた。また、移民たちの私信を収録した出版物を分析し、移民たちが個人的自己、関係的自己、集団的自己という三つの水準において、自己アイデンティティを構築してきたことがわかってきた。さらに、移民たち及び彼らの子孫が内地へ戻ってきた経緯や、彼らの言語使用、教育環境を考察した結果、様々な国家の政策が、移民一世のみならず、その子孫の世代にも及び、彼らの人生に分け入って甚大な影響を与えていることが明らかになった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 0件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 孫潔	4. 巻 第108号
2. 論文標題 政策移民のアイデンティティ形成に関する人類学的研究－私信集の分析を手がかりに	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 佛教大学・文学部論集	6. 最初と最後の頁 65-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 孫 潔	4. 巻 106
2. 論文標題 映画における政策移民の帰還に関する人類学的研究－『青紅』に描かれた移民に着目して	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 佛教大学『文学部論集』	6. 最初と最後の頁 81-98
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件／うち国際学会 0件）

1. 発表者名 孫潔
2. 発表標題 中国集団体制時代における政策移民と言語空間--Changhuaをめぐるアイデンティティに関する考察
3. 学会等名 同志社大学人文科学研究所
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 孫潔（高山陽子、山口睦（編））	4. 発行年 2023年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 28
3. 書名 「母国からの「親友」を歓待する－中国人の訪日観光における歓待規範」（『規範と模範－東北アジアの近代化とグローバル化』収録）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------